



# クアラルンプール 研修プログラム

SMI HOLIDAY SDN BHD



Copyright @ SMI Group



# 多様性溢れるコンテンツ Why マレーシア

## ① 市場

アジア市場とイスラム市場、両方の特性を観察することができる数少ない国です。成長が著しい東南アジアの注目度は世界的に高く、他では体験できないビジネス経験に触れる事ができます。



## ② 多民族 国家

マレー系、中国系、インド系から構成される多民族国家です。様々な人種に対するマーケティングやプロモーションを見ることで、多様性の中で生きていくための本質を社会体験を通して得る事ができます。



## ③ 英語圏

イギリス連邦加盟国の英語準公用語であるため、現地消費者と直接英語で対話ができます。海外経験の中で重要な言語の壁を日本人に馴染みのある英語を通して、コミュニケーションをとる事ができます。



# 目次

1. 緊急発生時の組織図と車両・ガイドのご案内
2. お勧めホテル
3. お勧めレストラン
4. 研修プログラム - 旅 x SDGs

## 人が暮らす上で大事な目標

1. 貧困をなくそう
2. 飢餓をゼロに
3. すべての人に健康や福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう
6. 安全な水とトイレを世界中に
7. エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに

## 暮らしやすく、そして成長する為の目標

8. 働きがいも経済成長も
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
10. 人や国の不平等をなくそう
11. 住み続けられるまちづくりを

## 環境に配慮した目標

12. つくる責任 つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさも守ろう

## 1人でがんばらない為の目標

16. 平和と公正をすべての人へ
17. パートナリーシップで目標を  
達成しよう

## 5. 企業訪問先一例

# 緊急発生時の組織図と車両・ガイドのご案内

## 大型バスのご案内



シートベルト全席付  
ファーストエイド完備



トランクは中型サイズ  
スーツケース30個まで



最大43名様まで乗車可

## ガイドのご案内

学生団体のガイド経験豊富な  
ガイドを手配します。



## 緊急発生時の組織図



緊急トラブル発生



添乗員・引率者



SMI HOLIDAY

TEL: (60)3 2148 8131



医療機関

Prince Court Hospital  
TEL:03-2160 0000

Gleneagles Hospital  
TEL:03-4141 3000

Copyright @ SMI Group

## ◆パスポート紛失等の緊急事態が発生した際の 対応について

警察署にて紛失届



日本大使館にて『帰国のための渡航書』の発行手続  
<平日午前のみ、原則の午後受け取り>

- \* 紛失一般旅券等届出書
- \* 警察当局が発行したポリス・レポート
- \* 6か月以内に発行された戸籍謄（抄）本  
（メールで現地事務所へ送って頂きます）
- \* 帰国の航空券eチケット



移民局にて滞在許可事実証明取得

※緊急時のガイド料金などはその時の状況に応じて  
追加費用が変わりますのでその都度ご案内いたします。

警察署・消防署

クアラルンプール警察本部  
999 / 603-2146-0522

消防署  
994

日本大使館

03-2177 2600  
(夜間・休館日は  
音声ガイドに従う)

# マレーシアをDGsの観点で知り、行動宣言を行う



【なぜSDGsを学ぶのか、「学び」から得たことを行動に変える】

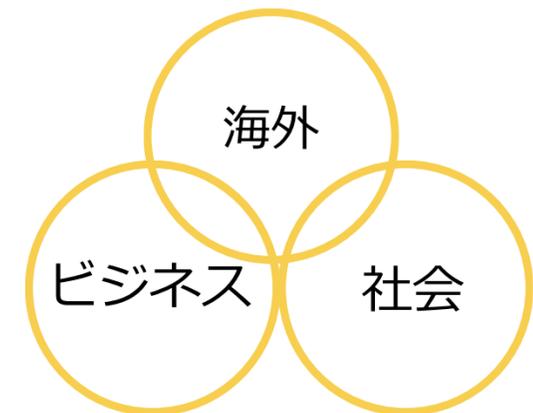
「インプット」「プロセス」「アウトプット」の3つのステップをベースとし  
“見て終わり”にならないプログラムを推奨します

Withコロナ時代における教育のマインドセット  
「答え」がない社会に必要な能力こそ“主体性”

社会で問われる理想的なスキル



得られる3つのスキル



感じられる3つの体験

Step 1: インプット | 現状を知り、課題を発見する

観光・体験・交流から、マレーシアの現状を知り、SDGsの観点から今起きている、そして将来おこるだろう課題を見つけよう。様々な領域の人、知識や経験に触れ、視野を広げる事がStep1で最も重要なポイントです。

Step 2: プロセス | 自分ごと化で考える

課題を発見したら、自分の身の回りにおきかえ、自分たちが暮らす街で同じような課題がないかをリサーチしてみましよう。地元の人たちにヒアリングをしたり市場調査を行う事も旅行中に出来るリサーチです。

Step 3: アウトプット | 自分に何が出来るだろう (スクール・アクションプラン)

発見した視点やアイデアを言語化することで、体験を自分ごと化し、今後何を行動すべきかを明確にし継続的な行動に挑戦する。

# B&S(ブラザー&シスター)プログラム

マレーシアの学生の価値観を知り、より深い位置で文化を交換できる

現地大学生が兄弟姉妹役 (Brothers&Sisters) となり、一緒に観光地巡り・街歩き、市場散策などを行う体験型プログラムです。出発地に沿ったスケジュールを自分たちで企画する所からプログラムは開始です。公共機関を利用して街歩きをする中で海外生活への関心が高まり、当地の生活物価を体験する事ができます。身近な未来像に交流することで自分の夢を考える「未来への気づき」になります。



マッチング



B&S開始、画像USM出典



ランチタイム

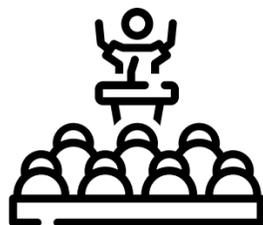


思い出の1枚

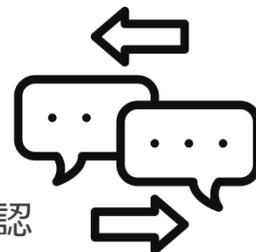
## ✓安全なプログラムを提供する推進体制



事前に学生が企画した日程表をマレーシア側で確認



開始前に日本側班長と現地生徒で安全運航の再確認



途中、現地学生より担当ガイドへ途中報告



※有料にて学生にレンタル携帯電話もお手配可能です。

## サンプル日程 (所要時間調整可能)

09:00	ホテル出発
	現地留学生と班長ミーティング
09:30	B&S開始
	※中継地点(チェックポイント)を設けて先生方の見回りを入れることも可能
	チーム毎に昼食
14:00	再集合
夕食時	※夕食時などに班別で気づきの発表を組込むことも可能 (日本側のみ)

## インフォメーション

- ご案内 男女指定はできません
- 催行人数 小人数から300名以上でも可能です  
現地学生は通常5-6名の日本生徒に1名を入れる班編成となります
- 催行時期 不催行日は特にありませんが、ハリラヤや旧正月とその前後は現地学生が集めにくくなっております

# 学校交流プログラム・中学校、高等学校

人と人は違って当たり前。お互いの価値観をリスペクトする社会

先入観で判断せず、相手を知ろうとする気持ち、相手が大切に思っている習慣や価値観をリスペクトする気持ちが平和とグローバルへの第一歩です。多民族国家マレーシアのスクールライフを体験してみましょう。



記念撮影



両校、学校代表の挨拶



パフォーマンス披露



バディとアクティビティ

## サンプル日程（所要時間調整可能）

09:00	学校到着・集合写真
09:15	ウェルカムセレモニー
	学校代表者と生徒代表の挨拶
	両校より記念品の交換
~10:00	両校生徒によるパフォーマンス
10:30	バディとアクティビティ
11:30	食堂にて一緒に昼食

## ✓ 交流受け入れが出来ない時期 2022年の場合

- 1月第一週 新学期の始まり
- 6月スクールホリデー (4日-12日)
- 9月スクールホリデー (3日-11日)
- 11月 全国統一試験期間 (1日-30日)
- 12月スクールホリデー (10日-31日)

## インフォメーション

交流にあたり、教育省の管轄下であり訪問には許可申請が必要です（代理申請可能）

催行人数

小人数から300名まで受入れ可能ですが、バディの数は受入れ学校の都合により事前に確約ができません。なお、大人数の場合は交流現地校を複数に分けさせて頂く場合もございます

催行可能時間・日程

スクールホリデーの時間と休みに入る前の試験期間は学校訪問・交流は出来ません

# 国立プトラ大学(UPM)のCELIKプログラム

インプット(講義を受ける)・プロセス(ディスカッション)・アウトプット(発表)の実践

サンプル日程 (所要時間調整可能)

Cross-Cultural Workshopでは“知る”だけでなく、両国の違いについてディスカッションを行い自らの考え、思いを発表してもらいます。「今学んでいる事が将来何の役に立つのかわからないので、勉強に身が入らない」という経験はありませんか？今学んでいる事全てが、直接将来役立つのではなく、アイデアを出し実際に取り組む為の前段階で重要な過程となる事に気づきを持っていただけるアウトプットの実践的なプログラムです。



記念撮影



語学研究所入口



講義風景



講義風景

09:00	学校到着・集合写真
09:15	ウェルカムセレモニー
	両校、学校代表者の挨拶
	両校、生徒代表の挨拶
09:45	両校生徒によるパフォーマンス
10:30	バディとアクティビティ
11:30	バスにてキャンパスツアー
12:00	校内にて昼食

## マレーシアの教育課程制度

- 初等教育6年
- 中等教育が5年 (前期3年、後期2年)
- 大学予備教育1年～1年半
- 大学3年～6年

マレーシアは多民族国家であるため、小学校段階では、国語であるマレー語を教授言語とする学校の他、中国語、タミル語による学校もあります。

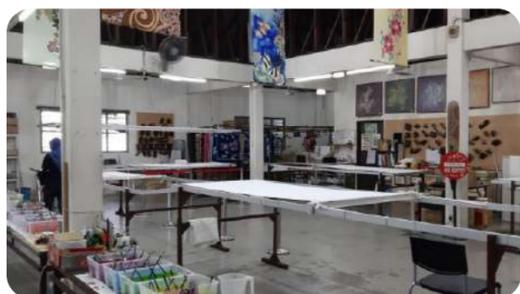
## インフォメーション

移動距離	クアラルンプール：UPMプトラ大学・サンウェイ大学 パナン島：USMマレーシア科学大学 コタキナバル：サバ大学
催行人数	小人数～150名 (交代制)、文化交流プログラムの場合のみ 現地学生が参加いたします
催行可能	スクールホリデーの時期と休みに入る前の試験期間は学校訪問交流は出来ません

# 「知る」ことから始める伝統の継承ろうけつ染め バティック

伝統継承をするのは、作り手だけではありません。作り手以外ができることとして「伝統を知る」ことが最初の一步

バティックはマレーシアの伝統工芸のひとつ。蠟で色の混ざりや着色を防ぐ防染法と呼ばれる“ろうけつ染め”の染色方法を使ったもので「蠟を使った芸術作品」という意味があります。戦後の繊維産業の発展で増加したバティック職人も、印刷技術の発展やIT産業改革により需要が衰退しましたが、現在も伝統工芸の継承・復興への試みとしてさまざまな活動が行われています。



バティック工房



職人のデモンストレーション



ろうけつ染め体験



完成品

## サンプル日程（所要時間調整可能）

09:00	ホテル出発
09:15	バティック工房到着
20分	工房見学
60-90分	1.鉛筆で布に下絵を描く 2.下絵の上にろうをのせる 3.染色
11:15	出発
	※作品はご帰国までにお届けいたします

## ✓ マレーシア政府はバティック産業振興

- \*2008年1月に公務員に対して毎週木曜日をバティックを着用の日に定める
- \*2019年には民間企業にもバティックの着用を提案する
- \*バティックを制服として取り入れているマレーシア航空
- \*マレーシア観光文化省はツアーガイドのドレスコードをバティックに認定



## インフォメーション

- 移動距離 市内中心地から車で約10分
- 催行人数 制作体験は1度に80名まで（交代制可能）
- 催行可能時間・日程 09:00～18:00

# マレーシアの産業を支えてきたピューター・錫製品工場

錫の歴史と創業130年のロイヤルセラランゴール社が注目する企業の成長に欠かせない働き甲斐とは

世界的な知名度を誇るマレーシアを代表する「ピューター」は錫に少量の銅・アンチモンを混ぜ合わせた合金で、柔らかく錆びず、保冷性にも優れたピューター製品は世界中に愛されています。古来宗教的な祭事や式典などにも錫で造られた陶器や装飾品が用いられてきました。19世紀当時、世界最大の錫の産地だったマレーシアですが、現在は輸入に頼らざるを得ず、錫発掘地や池の再開発、自然の有効活用による集客などさまざまな計画が進められています。



本社



電力はソーラパネルを利用



工場内



制作体験（別料金）

## サンプル日程（所要時間調整可能）

09:00	ホテル出発
10:00	工場到着
	館内ツアー
	製作体験
16:30	出発

## ロイヤルセラランゴール社の地域社会への精神

- 非営利団体への寄付活動
- スキルの開拓・開発
- 地元民の雇用と育成
- 責任あるビジネス慣行の実施

## ✓ 錫採掘場所から首都へ発展したクアラルンプール

もともとクアラルンプールは錫の採掘場所として発展した土地。マレー語でKuala は「川の合流地点」や「河口」といった意味、Lumpurは「泥」という意味があり、クアラルンプールは「泥川の合流地点」という意味になります。掘り出された鉱石を川の水で洗っていたため川には泥水が流れこの川の合流地点が発展の中心となり、名前の由来となりました。



## インフォメーション

- 移動距離 市内中心地から車で約30分
- 催行人数 制作体験は1度に80名  
(工場見学と入替制で同時に160名迄)
- 催行可能時間・日程 09:00~17:00

# 郊外の村で異文化を学ぶ異文化体験カンポンビジット

## 郊外の村で言葉の壁を越えてマレー文化を体験する

## サンプル日程（所要時間調整可能）

「カンポン」とは、マレー語で「田舎・村」を意味します。マレーシア各都市の郊外にある村（カンポン）を訪れ、その生活を体験できるのがこのプログラムとなり、マレーシア伝統文化や自然、村人たちとの交流を楽しむことを目的として「カンポンビジット」が行われています。今後ますますグローバル化が進む中で、日本人と外国人が共生できなければ地域社会は継続できません。“宗教による文化の違い”を知る事で、又、自分の文化を知ってもらう事で、わたしたちも、より良い地域社会を作っていくなくてはなりません。

08:30	ホテル出発
10:00	マレー人村到着
15分	ウェルカムセレモニー
10:15	エコツアー (ゴムの木・パームやしの見学)
11:00	ホストファミリー家へ移動
	ホストファミリー家にて昼食
14:00	再集合・出発



エコツアー



ウェルカムセレモニー



ホームステイ先一例



家庭料理

## ✓ UNWTO（世界観光機関）ユリシーズ賞受賞

このプログラムは、2012年に国連世界観光機関（UNWTO）のユリシーズ賞を受賞しました。その地域の活性化や経済効果に大きな効果をもたらした画期的なツーリズム政策として称えられる賞です。



## インフォメーション

移動距離

クアラルンプール：バングリリス村、パチタン村、  
テメロー村  
ペナン島：テロバハン村  
コタキナバル：パパガ村

催行人数

1～60家庭（2～300名）※宿泊は最大80名ほど  
5～8名／1家庭

催行可能時間・日程

家庭によっては1家庭6名ほど受け入れ可能な場合もあり  
金曜日はピンクモスクの入場不可

# 先入観で判断せず、相手を知ろうという気持ち"ハラール"を知る

## ホテルシェフがおしえる"食から知るハラール"

イスラム教徒(ムスリム)の人口は世界の25%を超え、その半数以上はアジアに居住しています。アラビア語の「ハラール」とはイスラムの教えで"許されている"という意味からきており、神の教えに従って生きるムスリムの生活全般(食品、化粧品、約束、仕事など)を指します。イスラム法に則って生産・提供された商品かは「ハラール認証」マークで確認ができ、多民族・多宗教また経済発展により輸入品や加工品が増える中で国が確認し、安全なハラール商品を購入できる制度が整っています。



コーラスホテル



レストラン



マレーシアのハラール認証マーク



ハラール認証を受けたキッチン

## サンプル日程 (所要時間調整可能)

09:00	シェフからの講話
~10:30	Q&Aなど
15分以内	キッチンバックヤード見学
60分	ホテル出発
+@	ショッピングモール自由視察 (ハラール商品、レストランなど)

## 世界の宗教人口 2020年調査

キリスト教	31.3%
イスラム教	25.0%
ヒンドゥー教	14.9%
仏教	6.3%
無宗教	15.8%

(出典 : The world's religious population in 2020)

✓ 機内食で多様性について考えてみましょう！

航空業界では機内食は4文字のアルファベットで表示されるのですが、宗教や個人の主義で食を選ぶ方に合わせて30種類程あります。

- ヒンドゥー・ノンベジタリアンミール (HNML)
- コーシャーミール (KSML)
- モスレムミール (MOML)



## インフォメーション

コーラスホテル、パークロイヤルホテル(宿泊必須)

催行人数 10~50名  
 催行可能時間・日程 平日 10:30~14:30の時間以外

# なぜクアラルンプールから首都機能をプトラジャヤへ移したのか？

## 住み続けられる街づくりを目指して

## サンプル日程（所要時間調整可能）

首都クアラルンプールでは人口増加、交通渋滞、政府機関においては市内に点在しているが故の運営非効率や家賃の高騰等さまざまな問題を抱えていました。そこで首都は変えずに行政機関のみ移転する案が可決、1999年新たに行政首都「プトラジャヤ」が誕生し、そこで働く人たちの移住を推進しました。現在約10万人の人口を移住させたプトラジャヤ計画の方法と行政都市だけにとどまらず観光地としても発展した街を訪れ、人口移住・交通渋滞など調査してみましよう。

09:00	ホテル出発
09:45	官庁街を車窓と下車散策 首相官邸・高等裁判所 *プトラジャヤ開発公社 など
10:45	ピンクモスク入場 ※金曜日は外観のみ
11:15	人口湖見学 ※有料でクルーズ乗船可能



美しいピンクモスク



首相官邸



クアラルンプールの交通渋滞



CO2排出量削減への取り組み

## 服装で気をつけること

モスクを入場する際には、特に女性が肌を露出する事は禁じられています。貸し出しマントの利用を避けたい場合はスカーフ、長袖、足が隠れる服装を準備してください。

## ✓2050年の日本は、人口の70%が都市部に暮らしている統計

- ・人口が増えた都市の問題  
→ 排気ガス、交通問題、水の汚染、住宅費高騰、介護施設不足
- ・人口が減った都市の問題  
→ 後継者不足、病院・商店・学校が減少し利便性が悪くなる



## インフォメーション

移動距離	市内中心部から45分
催行人数	制限なし
催行可能時間・日程	金曜日はピンクモスクの入場不可
催行可能時間・日程	金曜日はピンクモスクの入場不可

# "企業進出"をサポートする経済特区サイバージャヤ

ITを新しい産業の柱に住み続けられる街をつくる

先進国を目標に掲げた構想の一環である「マルチメディア・スーパーコリドー(MSC)」構想とは政府指定の情報通信技術(ICT)産業の集積地をつくる計画であり、1998年にMCT構想の中核都市として首都郊外に「サイバージャヤ」という経済特区がつけられました。企業だけでなく、教育機関、住宅・商業施設など、4つのエリアに分かれており、それぞれのエリアが相乗効果を持った都市になっています。

サンプル日程 (所要時間調整可能)

09:00	ホテル出発
09:45	サイバージャヤ車窓観光
60-90分	都市開発公社またはスタートアップ支援機関を訪問
	サイバージャヤ地域開発に関する講和
	館内見学
	※マレーシアで活躍する日本人起業家の講和手配も可能です



サイバージャヤの街



MSC構想について講義



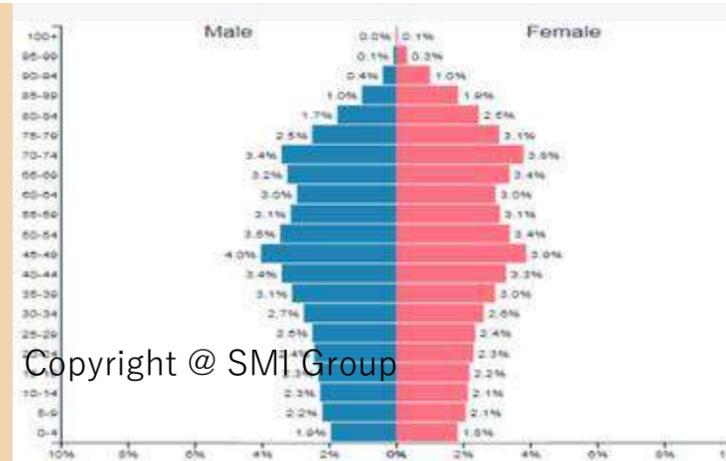
企業訪問



進出している日本企業

## ✓日本とマレーシア人口ピラミッド(2020年)

マレーシアの総人口は約3,270万人平均年齢は29.2才です人口ピラミッドでは、20台~40台の若い年齢層が増える形になっています。



出典:コスモスプラン

## インフォメーション

- 移動距離: 市内中心部から45分
- 催行人数: 10~50名
- 催行可能日: 平日 10:00~16:00
- 訪問企業一例: サイバージャヤ開発公社(Cyview社) スタートアップ支援機関(MaGIC)など

# HDC (Halal Development Corporation Berhad) ハラル公社

## マレーシア政府が目指す「ハラル・ハブ」 ハラル開発公社のミッション

ハラル認証には国際基準がなく、各国がそれぞれ基準を設けているのが現状です。その中で国を挙げてハラル産業の発展に取り組んでいるマレーシアのハラル認証は、サウジアラビアに次いで厳しい規格とされ、マレーシアの認証をもっている製品は世界各国で信頼のおける商品として多く輸出されています。ハラル開発公社（HDC）は、14のHALMAS認定ハラールパークを通じてマレーシアのハラル経済の成長を推進しています。

### サンプル日程（所要時間調整可能）

09:00	市内ホテル出発
10:00-11:30	HDCオフィスにて講話とQ & A
	HDCオフィス隣接の大型ショッピングモールへ移動
60分	ショッピングモール自由散策（ハラル商品・レストラン等）



研修の様子



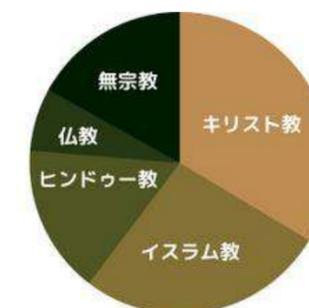
トレーニングルーム



ショッピングモール  
(イメージ)



ハラル認証の飲食店



キリスト教	31.3%
イスラム教	25.0%
ヒンドゥー教	14.9%
仏教	6.3%
無宗教	15.8%

(出典：The world's religious population in 2020)

## ✓ ハラル認証とは？

イスラム教徒（ムスリム）の人々がハラル製品であるかを見極めることができる「ハラル認証」と言われるマークがあります。このハラル認証は、1960年頃にマレーシアで始まり、マレーシアでは国が運営している略称JAKIM（ジャキム：マレーシア連邦政府総理府イスラーム開発庁）が管轄しています。



### インフォメーション

移動距離	市内中心部から30分
催行人数	20～30名／1回あたり
所要時間	2～3時間程度(自由視察で調整可能)
企業案内	ハラル開発公社（HDC）

# 植民地時代より受け継がれた西洋とアジアが融合する街世界文化遺産マラッカ

## マラッカが世界文化遺産に選ばれた理由を探求する

15世紀マラッカ王国時代から東西貿易の中継地として栄えました。その後ポルトガル、オランダ、イギリスの植民地となり、歴史の背景から各国が残した建築物、教会や寺院とともに、宗教や食文化も長年にわたって受け継がれ、アジアの文化が融合し独特の街並みと文化を生み出した事が認められ、2008年にユネスコ世界文化遺産に登録されました。



セントポール教会



約400年前に作られた  
オランダ広場



ジョンカーズストリート



アートが点在する  
リバーサイド

## サンプル日程 (所要時間調整可能)

08:00	ホテル出発
10:00~	・セントポール教会 ・スタダイズ・オランダ広場 ・旧市街地・ヒーレン通り ハーモニー通り ・ジョンカーズストリート自由散策
12:00	昼食
※ 希望制	水上モスク・外観のみ
17:00	KL市内

## 世界遺産の分類

- ・文化遺産 人によって作り上げられた遺産  
例) インドのタージ・マハル、厳島神社など
- ・自然遺産 自然によって作り上げられた遺産  
例) タンザニアのキリマンジャロ公園、屋久島など
- ・複合遺産 文化遺産と自然遺産の両要素を持った遺産  
例) ペルーのマチュピチュなど

参考 World Heritage Today and tomorrow with young people

## ユネスコからのメッセージ

遺産は、私たちが祖先から受け継いできたものです。私たちの代で絶やすことなく次の世代に伝えていくために、きちんと保存していくことが私たちの責任です。遺産を守ることは、私たちが未来を築いていく上でも大切なことなのです。

## インフォメーション

- ご案内 マラッカで宿泊もおすすめです
- 催行人数 複数台の場合は回る順序を入れ替えさせていただきます
- 催行時期 特にありませんが、週末・祝日は大変込み合います

# 優先順位はリデュース"3R体験センター-FIKS"

## マレーシアにおけるゴミ処理の現状とは

1970年以降目覚ましい経済成長を遂げ、マレーシアでは各地で都市化が進み、さらに人口増加と都市集中化、生活様式の変化に伴い一般廃棄物が増加しています。産業廃棄物の処理・リサイクル事業は盛んですが国民の"ゴミの分別"への関心は低く、習慣は今だ根づいていないのが現状です。ゴミは埋め立て処理が主流ですが、2019年に国内初のゴミ焼却場が建設され、今後も衛生的な施設を数力所造成する予定となっており、都市ゴミ処理の改善への取り組みがされています。



街中のリサイクルボックス



FIKSセンター外観



リサイクル用品の買い取り



買い取り品の販売所

## サンプル日程 (所要時間調整可能)

09:00	ホテル出発
09:45	FIKS到着
30分	FIKSの活動に関する説明
90分	リサイクル品買取所&販売所 リサイクル品を多く利用した キッズルームの見学

## ✓ FIKSのビジョン・ミッション



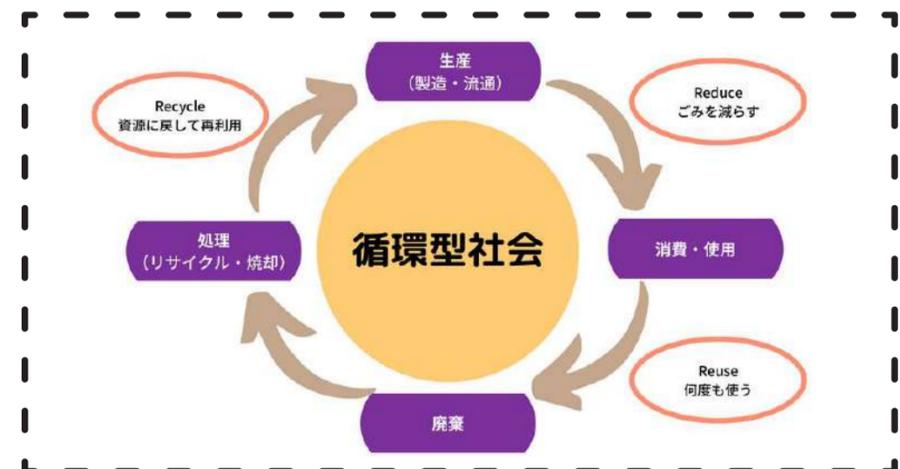
3Rに関する教育センターになること



3Rを実行する地域社会(コミュニティ)をつくること



地域住民の生活の質の向上に努めること



## インフォメーション

移動距離 市内中心部から45分  
 催行人数 10名以上~100名まで (交代制)  
 催行可能時間・日程 月~土 09:00~16:00まで (日曜祝日は休館)

※FIKSは都市の一般廃棄物の収集、運搬を委託されている民間企業が運営するOne Stop Education施設です

# 地球の肺と呼ばれる森林をどのようにして守るか？ 森林研究所FRIM

管理されなくなった人口林が、森林の荒廃や「緑の砂漠」という問題を起しています

アマゾンやアフリカのジャングルより古い世界最古の原始林がクアラ Lumpur 郊外に存在します。そこで動植物の生態や森林資源保護の研究を行っている世界の熱帯林業研究の主要機関のひとつであるマレーシア森林研究所（FRIM：フリム）は世界中の研究者が注目しています。現在「地球の肺」である森林が木材収奪や農園開発による火災、地球温暖化により熱帯地域を中心に森林破壊が進んでいます。中でも日本を含む国々への輸出目的による伐採は深刻な森林破壊の主な原因となっています。

## サンプル日程（所要時間調整可能）

09:00	ホテル出発
09:45	FRIM到着
20分	レンジャーからレクチャー
60分	トレッキング
11:30	出発



世界最古の原始林



レンジャーとトレッキング



トレッキング



※スカイウォークは別料金

## インフォメーション

移動距離	市内中心地から車で約45分
催行人数	人数制限なし
催行可能時間・日程	08:30～17:30（平日のみ） ※スカイウォークは午前中のみ 金土日祝不可
ネイチャーガイド	トレッキング中、20-25人に対して1名のネイチャーガイド（英語）が同行して説明を行います

✓ 認証マークを知ることによって実践できるサステナブルな取り組み



FSC  
(森林管理協議会)



PSPO  
(持続可能なパーム油)



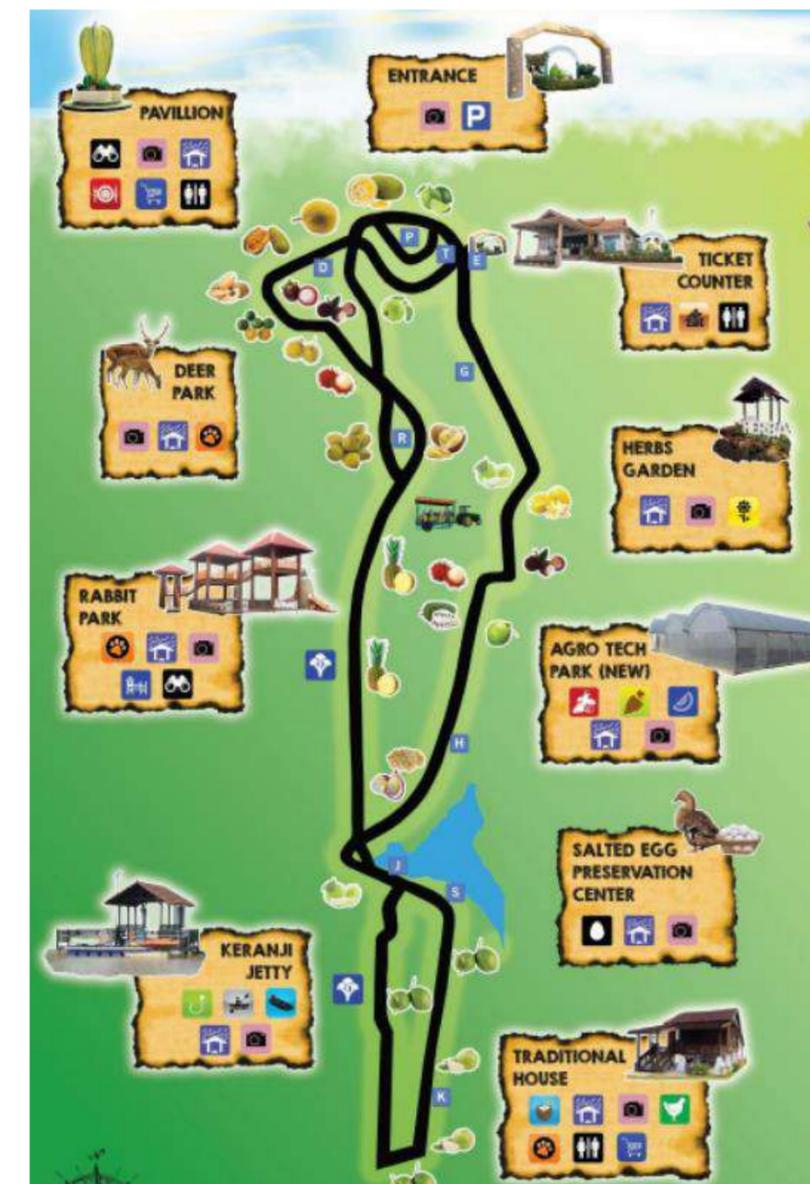
RA  
(持続可能な農業)

# マレーシア最大の観光農園セランゴールフルーツバレー

マレーシア最大級の農園で南国フルーツや農業を知ろう

クアラルンプールから車で北に1時間、セランゴール州のラワン近くにあるセランゴールフルーツバレーは東京ドーム約200個分程の広大な敷地にさまざまな果樹園や畑、施設が点在するマレーシア最大級の観光農園です。フルーツの王様ドリアン、スターフルーツ、ジャックフルーツなど南国フルーツが20種類40品目のほか野菜も栽培されています。日本では見られない南国ならではのフルーツの生態を見て・触って・味わって、他にもさまざまな体験が可能なスポットです。（収穫時期により見れるフルーツは異なります）デジタル社会の今日、農業を知る機会が少なくなっていますが、農業に対して正しい理解と、興味や関心をもってもらえる体験を楽しんでいただけます。

サンプル日程（所要時間調整可能）



施設



園内で利用できる ترام



フルーツ農園



ランチ一例

## ゴムの樹液採取体験

イギリス植民地時代に始まった天然ゴムの栽培でマレーシアは世界最大の天然ゴムの生産国になりました。施設ではゴムの木から樹液採取体験が可能。白い樹液は手で触っているとよく知るゴムの感触に変わる珍しい体験が可能です。（有料・事前予約が必要です）

## プラントティッシュカルチャー

健康な植物の組織を取り出し、培養土に入れて密封します。必要な栄養素や水など人工的に培養条件の調整ができた土壌に入れ、植物が十分に育つと土壌に植え替える工程を体験できます。（有料・事前予約が必要です）

## インフォメーション

移動距離	市内中心地から車で約1時間～1時間半
催行人数	制限なし
催行可能時間・日程	0900-1400, 金曜日クローズ

# 失われつつあるマングローブを守ろうKSNP自然公園

## マングローブの生態を知る

1987年に開園したクアラセランゴール自然公園は熱帯雨林とマングローブ林に分かれ、野鳥など自然動物の見学や、マングローブの苗植え、植林、清掃活動などの環境プログラムを行う事ができます。ナチュラリストから、自然との環境の相互作用、経済の持続可能性への影響に関すること、マレーシア及び東南アジア一帯における自然状況などの講和を受けることができます。



公園の施設



公園内に棲息する野生動物



マングローブ植林



マングローブの苗植え

## サンプル日程 (所要時間調整可能)

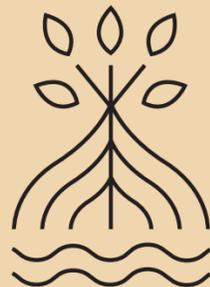
08:00	ホテル出発
09:30	施設内でマングローブ生態に関するセミナー
10:00	マングローブツアー
11:00	植林体験 (1人1本)
11:30~ 12:00 頃	出発

## マングローブの語源は、マレー語

マングローブの語源は、マレー語で潮間帯に生育する樹木の総称を表す“Mangi-Mangi (マンギ・マンギ)”と、英語で小さい森を表す“Grove (グローブ)”との合成語となり、マレーシアにはなじみが深い言葉です。

## 世界マングローブ分布図

マレーシア国内のマングローブは57万5,000ヘクタールあり、世界で発見されているマングローブの約90%の種類があるといわれています。



## インフォメーション

移動距離	市内中心地から車で1時間半
催行人数	1回につき80名、午前午後入替可能
催行可能時間・日程	祝日

# GKオーガニックファーム

## 住み続けられる街づくりを目指して

オーガニック商品が生活に浸透している現在、あらためてSDGs目線でオーガニックを考えてみましょう。「オーガニック」は商品の製造だけでなく、工程に関わるすべての人、動植物、微生物等の小さな命、次世代の新しい命や自然環境それらの公正な関係や生態系のバランスに沿った技術や長期的活動を目標にしています。豊かな土壌と人と自然が繋がるオーガニック、その基準である土壌は今、地球温暖化や都市化、栄養枯渇や汚染によって世界的に土壌の劣化が進んでいます。



オーガニックファーム



オーガニックと環境を学ぶ



自然の環境で育つ野菜



オーガニックファーム

## サンプル日程 (所要時間調整可能)

09:00	ホテル出発
10:00	GKファーム到着
	オリエンテーション
	“はだし”で、園内散策しながら学習
60分	酵素ドリンク作り見学と試飲
11:30	オーガニックブッフェランチ

## ✓ 認証マークを知ることによって実践できる サステナブルな取り組み



少なくとも2年以上（作物により3年以上）禁止農薬や化学肥料を使用していない土壌で育てられていることが前提としてあります。

## GKファーム3つのポリシー

- No Outside Compost (外部肥料を使わない)
- No Green House or Planting House (温室を使わない)
- No Pest but Insects (虫を殺さない)

## インフォメーション

移動距離  
市内中心部から1時間

催行人数  
10~50名

催行可能時間・日程  
完全予約制のみの受け入れ

# クリスマスツリーのように光輝くセラングル川蛍鑑賞

## 美しい蛍の光を守り続ける

クアラルンプールから北西へ2時間のところにある小さな沿岸の村。この村に流れるセラングル川で、支流に生息するたくさんの蛍が美しい光の舞う感動の時間を与えてくれます。淡い光に照らし出される川辺の木々は「真夏のクリスマスツリー」とも言われ、必見の観光スポットです。この美しい光景をこの先も楽しむために、船はサンパンや電動グラスファイバーボートを使用し、空気・水への汚染や騒音を減らし、蛍の自然生息地を保護する取り組みがされています。



港



蛍鑑賞へ向かうボート



光を放つ蛍



夕食は海鮮中華

## サンプル日程（所要時間調整可能）

16:30	ホテル出発
18:00	夕食（中華海鮮）
19:30	蛍観賞
21:30	ホテル到着

## 服装で気をつけること

マングローブは湿地帯なので、必ず蚊がいます。伝染病などリスクもあるので、出来るだけ肌を出さない服装おすすめします。

## マングローブの語源は、マレー語

マングローブの語源は、マレー語で潮間帯に生育する樹木の総称を表す“Mangi-Mangi（マンギ・マンギ）”と、英語で小さい森を表す“Grove（グローブ）”との合成語となり、マレーシアにはなじみが深い言葉です。



## イーグル鑑賞の追加手配が可能

市内出発を早め、夕食前にマングローブクルーズとわしの鑑賞に出かける事も可能です。マングローブの生態と周辺で生息する生き物への役割を観察する事ができます。

## インフォメーション

移動距離	市内中心部から1時間～1時間半
催行人数	バス2台以上の場合はボートの待ち時間に時間差がでます
催行可能時間・日程	祝日は大変込み合います

# リンバイルム・ボタニックガーデン（マラヤ大学内）

## 熱帯雨林の庭園で生きた標本を観察する

## サンプル日程（所要時間調整可能）

マラヤ大学内にあるリンバイルム・ボタニックガーデンのコンセプトは「熱帯雨林の庭園」。主にマレーシアやインドネシア地域の植物を中心とした熱帯植物園です。1600類以上の植物、大学内には63000種登録された植物標本館があり、独自の環境教育プログラムがあります。1974年に設立された園は80ヘクタールもありアジア以外のオーストラリア、南米、アフリカ、マダガスカルなど太平洋地域の植物もみることができます。

09:00	到着
09:00 - 10:40	マラヤ大学研究者とボタニックガーデン内を散策
10:40 - 11:00	室内植物園 見学
11:00 - 11:30	展示場の見学とQ&A



外観



植物園の説明



室内植物園を見学



展示場

## リンバイルムの使命

熱帯植物の生命と環境、生態学に関する認識、知識を生み出し促進することです。大学での機能に適した施設と活動の開発、管理による植物の保全を使命としています。

## マラヤ大学 Universiti Malaysia

マレーシアで最も歴史があり、国内最高ランクの国立大学（QS世界大学ランキング 東南アジア3位）首相や政治家、著名人が多く卒業しています。

2012年、マラヤ大学は高等教育相から自治権を与えられ、また日本語・言語コースではマレーシアでの日本語教育の促進に貢献したことで、2020年に日本の外務大臣から表彰を授与されました。

## インフォメーション

移動距離	市内中心部から約25分
催行人数	10名-80名まで
催行可能時間・日程	平日の午前中(大学休み期間は不可)

# 絶滅危惧種のボルネオ象をみるクアラ・ガンダ象保護センター

## 絶滅危惧種のボルネオピグミーゾウ

世界最小の象と言われ、絶滅危惧種の貴重なボルネオピグミーゾウに会えるクアラ・ガンダ象保護センターは、1989年にクアラランプールから約100Km離れた郊外に設立され、マレーシア野生生物協会が管理しています。  
親と離れた子供の象や密猟や伐採によって孤児となった象を保護し自然に返すことを目的としています。

## サンプル日程（所要時間調整可能）

09:00	ホテル出発
10:40	象保護センター到着
10:50 ~ 13:00	飼育員と園内見学 (象の餌やり体験)



センター内の象の様子



保護されている象

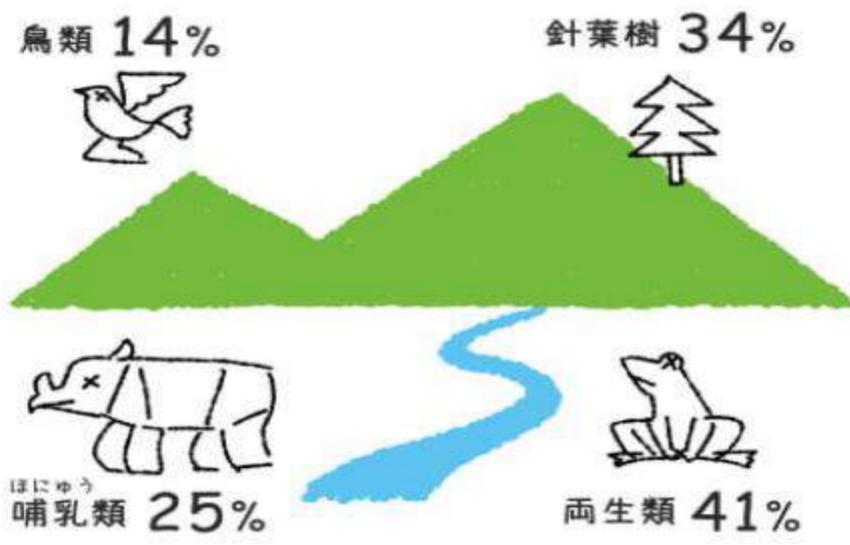


園内の見学



餌やり体験

## 世界の絶滅危惧の割合



出典：unicef 日本ユニセフ協会



## 絶滅の危機が心配されるボルネオ象

ボルネオ象はマレーシアのサバ州とインドネシアの北カリマンタン州に生息するアジアゾウの一種。体が小さく尾が長く、頭より肩が高いといった特徴があります。  
群れで移動しながら生活をしていますが、森林の伐採や農園へ移行による生息地の減少や密猟などの状況から絶滅の危機となっています。

## インフォメーション

- 移動距離 市内中心部から約2時間30分
- 催行人数 ~200名
- 催行可能時間・日程 月～日 10:30～15:30

# SMIグループ・マレーシア支店

	SMI HOLIDAY SDN BHD / WENDY TOUR SDN BHD
設立	1994年4月29日
所在地	CP61, Suite 2504, 25th Fl., Wisma Chuan No.34, Jalan Sultan Ismail, 50250 Kuala Lumpur
支店	クアラルンプール・ペナン・コタキナバル
従業員数	日本人5名、マレーシア人12名、社員ガイド5名 (2022年現在)
資本金	20万マレーシアリングット
登記番号	262901-W

「S.M.I.グループ」は常に前を向いて進化を続けていきます！

## Speed

多様化するマーケットにおいて、あらゆるニーズにお応えするために『スピード』が最重要課題と考えます。

社内インフラを整備し、独自社内システムを活用し社内全体での情報共有を図り、的確で迅速な旅行手配を行っていきます。また旅行業に限らず、様々な分野のビジネスパートナーとのコラボレーションを行っていき、グローバル企業体として意思決定スピードのさらなる加速がより幅広いビジネスチャンスをもたらすものと確信します。

## Mind

従業員一人一人がポジティブな『マインド』を持って取り組んでいきます。

お客様への感謝の気持ちを忘れないサービスマインドや、高いモチベーションを保ち、積極的なアプローチによって成果を上げていくビジネスマインドを持ち、チャンスを活かせるように努力していきます。

## Innovation

ビジネスに必要な『イノベーション』を意識してビジネスやサービスに活かしていきます。

常に新しいサービスや商品を開発し、プロセスを改善して効率化を図り、新たな市場やニーズを開拓し、常に組織を変革していく気持ちを強く持ち続けていきます。

